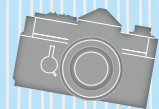


# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



## 福津を舞台に全国大会を目指す

プリンセス駅伝in宗像・福津



▲応援を背にカメラアステージ前を駆け抜ける選手たち

福津・宗像両市で、10月20日、女子駅伝の日本一を決める全日本実業団対抗女子駅伝の予選会「第5回プリンセス駅伝in宗像・福津」が行われました。

全国各地から参加した28チームが14チームに与えられる全日本大会の出場権をかけて、発着点の宗像ユリックスから津屋崎干潟、宮地嶽神社、カメラアステージなど、市内をめぐる全6区間42・195キロのコースで熱戦を繰り広げました。

今大会は積水化学が制し、地元福岡県勢からは九電工が2位に入る健闘を見せました。九電工は県から出場した唯一のチームで、昨年の3位から順位を上げました。

大会は好天に恵まれ、市内各所の応援拠点ではげんざいや郷土料理などが振る舞われ、大勢の人でにぎわいました。また、沿道の交通整理や給水所の運営など、650人もの地元のボランティアの皆さんの協力がありました。

## 災害に強いまちをつくるために

災害時の協定を締結

市は10月8日に市内外の一般廃棄物収集運搬業者が加入している新栄環美事業協同組合と「災害時における一般廃棄物の収集運搬に関する協定」を締結しました。今後は災害発生時に市内の事業者が対応できない場合などに、市外の事業者が災害ごみなどの収集運搬を支援します。

また、10月18日には宗像医師会病院、宗像水光会総合病



▲災害時の市民生活を守るため事業者と連携します

院、蜂須賀病院と「災害発生時における要配慮者等福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結。今後は災害発生時に、酸素吸入やたんの吸引、透析など重度の医療的ケアが必要な人を受け入れる福祉避難所が、必要に応じて協定を結んだ病院内に開設されます。これらの協定は災害発生時に、市民生活を支える大きな力になると期待されます。



▲各病院関係者と力強く握手が交わされました

## 秋の味覚に舌鼓

みかん狩り交流会



▲おいしいみかんに子どもたちも大喜び

内殿のみかん畑で11月3日、市認定農業者協議会主催のみかん狩り交流会が行われました。午前10時の開始前から大勢の人が列を作って並んでいました。昨年に続いて、市内から家族で参加した相野正樹さんは「今年のみかんも甘くておいしい。子どもたちが自然と触れ合えるみかん狩り体験はとても貴重だ」と語りました。会場では豚汁などの販売やアンケートに答えると野菜などがもらえる抽選会もあり大盛況でした。

## 芝生の上で秋を満喫

なまず親子のグリーンマルシェ



▲毎年大人気のはいはいレース

市総合運動公園「なまずの郷」で10月26日、なまず親子のグリーンマルシェが開催されました。食べ物や雑貨などの出店や、遊ばなくなった玩具を別の玩具に交換する企画など、子どもから大人までが楽しめる催しがありました。中でも「はいはいレース」は、会場全体がほのぼのとした気持ちになるような、笑いあり、涙ありのイベントでした。

## 災害に備える

全市一斉防災訓練



▲負傷者の受け入れ訓練を行う医療関係者の皆さん

11月9日に全市一斉防災訓練を実施し、市、宗像地区消防本部などの関係機関と市民が一体となった訓練を行いました。また、訓練の一環で、市と、県の災害拠点病院に指定されている宗像水光会総合病院が合同で負傷者の搬送・受け入れ訓練を初めて行いました。医師で同院の災害派遣医療チーム(DMAT)の堀英嗣さんは「災害時はどうしてもパニックになってしまう。日ごろから有事に備えた訓練が重要だ」と語りました。

## 議場で市に提言

中学生未来会議



▲議会と同じような形式で生徒が提言しました

市内3中学校の生徒会役員が「福津市中学生未来会議」と題し、学校の枠組みを超えて、市のこれからのについて考えてきました。最終回の11月9日は市議会の議場で、市に環境保全や商工振興など12の提言を議案として発表しました。提言に対し、市長や副市長、教育長からの質問もあり、生徒たちは緊張しながらもしっかりと答えていました。